令和7年第1回定例教育委員会 議事録

1. 日 時 令和7年1月31日（金） 16時30分開会
17時30分閉会

2. 場 所 長与町役場 4階 第1委員会室

3. 出席者 教育長 金崎良一
教育長職務代理者 古賀清彦
委 員 仁田千都子
委 員 山本 淳

4. 会議に出席した職員
教育次長 宮司裕子
学校教育課理事 鳥山勝美
教育総務課長 久原和彦
生涯学習課長 中尾盛雄
教育総務課 係長 島 美紀

5. 会議日程

開会

日程第1 会議録の承認について

日程第2 報告

日程第3 議事

6. その他

閉会

○宮司教育次長

皆さんこんにちは。

今年もどうぞよろしく願いいたします。

定足数に達しておりますので、令和7年第1回定例教育委員会を開会いたします。

はじめに、金崎教育長にご挨拶をお願いいたします。

○金崎教育長

(教育長 挨拶及び報告)

(報告内容概略)

・義務教育学校について

1月に高田コミュニティの役員会で説明会を2度実施。

今後、2月に3回住民説明会をふれあいセンターで行う予定。

高田小学校の入学者が現時点で78名。現在3クラスで準備を進めているが、クラス数が多くなると高田小学校の教室には児童が入れないような状況。

義務教育学校にすることによって、これを解消できる。

さらに、いわゆる課題解決だけではなくて、今後の教育の質を上げることにもなる。

・公立学校情報化ランキングについて

日本経済新聞グループの中に日経BPという雑誌があり、文部科学省の学校における教育の情報化の実態等に関する調査をもとに、公立学校の情報化度合いを日経BP独自の手法でランキングをした結果が発表された。

インフラは1,700以上ある自治体別、教育の内容が都道府県別となっている。インフラ整備について、全国で長与町が小学校で6位、中学校で5位にランクインをしている。九州のエリアでは小中ともに1位。

これは、Wi-Fiの整備の状況が大きく影響している。

コロナに入ったときに、コロナ交付金で、今後を見据え大容量のWi-Fiの整備をしたことが評価をされたものとする。

・部活動の地域移行について

部活動の地域移行については、安定して取り組んでいる状況。

1か月に1団体以上の視察依頼を受けている。

また、国のアドバイザーとしても、他県で、長与町の取組について紹介している。

令和8年までには、文部科学省の調査では、現在の時点で全国の自治体の7割弱が、実際にもう具体的に取組をするということになっている。

長与町が行った取組に倣って進めている状況で、その点は、向かっている方向に間違いがないということで、ご安心頂ければと思う。

・学力に関して

CRTの学力検査というのを毎年行っている。今回、小学校の学力検査の結果が返ってきて、全体としては、全国の平均は上回っている。

学校別、あるいは学年別、学級別によっても様々な課題があるので、結果が全てではなく、この結果をもとに、もう一度改善をということで取組をして、そして学年全体を上げていきたい。

これは、子どもたち、そして先生たちも頑張っている結果である。

さらに今、長与検定の採点をしているが、昨日6年生の状況を聞いたとこ

ろ、ほとんどの学校で6年生が相当頑張っている。

中学校に上がる2か月ぐらい前になるが、それに向けての心の準備もできていると推測をする。

・研究発表について

1月22日に長与第二中学校で「ふるさとキャリア教育」についての発表を行った。

長与第二中学校は、一人一人のキャリアを熊本の民間の保険会社の方が、それぞれグループに入って、そのグループの中5、6人の子どもたちによって、どんなキャリアをいくかというふうなことの授業をしている。

例えば何歳までに結婚をして、自分はこの家を購入してとか、この車を購入してとか、具体的にその車の価格とか、そんなことまで全部やっていくようなことを、中学校の2年生がシミュレーションしながら、非常に楽しんで行っている。

様々な形で自分のキャリアも積み上げていくということの一つの取組としては、興味深い取組であった。

1月29日、洗切小学校が、学習の方を中心に、みんなで学習進めていこうという協同学習に取組んだ。

子どもたちは、とにかく生き生きと学習に取り組んでいるという姿が非常によかった。

今、小学校の1年生では30名が1番多い。洗切小はその半分ぐらいの17名で、先生から一遍に全て見られて、非常にやりやすいと思う。

小規模の学校というのがこれから増えていく。

ただし、やはり今後進んでいく少子高齢化の中の少子化をそのままにしておくことはできないので、少ない人数だけでも、大人数にも交わることができるということを今後考えていかないと、小さいだけというのではなく、子どものために、幾つか方法は考えていくことが必要。

本日は、長与小と南小の方で、長崎県の特別活動の研究大会があり、県内から全体として130人ぐらいの先生方が見えられて、そして授業の提供があった。

この中で、私は理事と一緒に、長与小学校を小学校の2年生と6年生の2クラスを見学し、非常に前向きに子どもたちが取り組んでおり、成長したということもあるが、安定して授業が行われているということに安心感を持った。

学力のところは、先ほど申し上げたとおり、一人一人いろんな課題があるので、それは、一人一人クリアしていきたいが、全体としては、支持的風土というのが、発表をばかにしたりとか、腐したりするような雰囲気はなく、皆

が思い切って発表できて、学習ができるというふうな安定した環境が出来上がっており、非常に良い。

今後も研究発表については、毎年どこかがやっていく。

やはり、教員とか学校が向上するということが、子どもたちの向上につながると思っているので、そこは、教職員の学びも止めないというところも続けていきたい

○宮司教育次長

次に、12月26日に開催いたしました、教育委員会の会議録につきましてご承認をお願いいたします。

ご承認頂けますでしょうか。

ありがとうございました。

令和6年第12回定例教育委員会会議録につきましては、承認されました。続きまして、次第4の報告になります。

1、教育行政、12月27日から本日までの報告でございます。

1ページをお願いします。

教育総務課では、本日の定例教育委員会となっております。

続いて、学校教育課です。

1月7日に高田コミュニティー役員会へ出向き、義務教育学校の説明を行いました。

いつから行うのか、転校ができなくなるのではないかとといった質問がありました。

今後、地域住民に向けた説明会を開催するよう予定をしております。

1月28日は、公立高校の特別入学選抜試験が実施され、本日、合格発表が行われております。

次に、生涯学習課です。

1月12日に長与町二十歳の集いを執り行いました。

教育委員の皆様におかれましても、ご多忙の中ご出席頂きありがとうございました。

男性185名、女性169名の計354名の皆さんが20歳の節目を迎えられました。

1月17日、部活動の地域移行につきまして、群馬県教育委員会の視察を受入れております。

1月25日、町民文化ホールで、教育委員会自主事業のふしぎ駄菓子屋銭天堂を開催し、人形劇が披露されました。

会場も満席に近い盛況ぶりで、来場された皆さんは楽しい時間を過ごされていきました。

1月28日、高田地区公民館では、高田まつりが開催されたところがございます。

以上が教育行政報告になります。

次に、学校事故報告と委任事項の報告でございますが、学校事故の報告はございません。

それから委任事項につきましても、報告すべき重要事項等はございませんでした。

以上で報告を終わります。

これまででご質問等ございませんか。

それでは、次第5 議事、次第6 その他につきまして、本日はございませんが、委員の皆様から何かございましたらお願いいたします。

事務局より何かありませんか。

ないようであれば、これをもちまして、本日の定例教育委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。